

凡例 ① 所在地 ② 申請者 ③ 階数 ④ 住戸数 ⑤ タイプ



ソフト認定

ハード認定

竹山16-2住宅



基本情報

- ① 緑区竹山一丁目
- ② 竹山16-2団地管理組合
法人
- ③ 地上4階（6棟）
- ④ 152戸
- ⑤ 既存・分譲

ハード認定の概要

【耐震性】

昭和46年竣工

平成10年耐震診断、平成11年及び令和元年の建物調査結果等から確認

【浸水対策】

敷地の一部に内水浸水想定区域が含まれるが、建物が道路地盤面より高く想定浸水深より高い位置にあるため、浸水の恐れはない。

【防災資機材】

投光器、カセットガス燃料発電機、ガソリンエンジン発電機、ソーラーパネル、車いす、携帯型担架、ボール等

【防災倉庫】

独立した防災倉庫1か所のほか、6棟すべてに防災資機材の保管場所を確保



▲ボールやマンホールフック等の救命・救助に必要な資機材を各棟に配備

ソフト認定の概要

【防災組織】

理事会そのものを自主防災組織とし、平時は理事会に防災推進部を設け、防災訓練企画や防災資機材の点検を行う。

震度5強以上の地震発生時に棟単位でファーストミッションの活動を行う。その後災害対策本部を立ち上げる。

【防災マニュアル】

居住者、災害対策本部用を兼ねたマニュアルで、居住者の災害への備えと共助を基本とした災害時の行動計画を記載。また、棟単位で実施するファーストミッションボックスを各階段室に配備。



▲各階段室に設置しているファーストミッションボックス

【防災訓練】

避難集合訓練、マンホールトイレ設置訓練等を実施

【飲料水等の備蓄】

最低3日分の飲料水、食料、携帯トイレの備蓄を防災マニュアルに記載し、日常備蓄を推奨

保存版

竹山16-2団地管理組合法人防災マニュアル

2026年2月14日理事会制定

2026年6月13日理事会改定

1. 竹山16-2団地の概要
2. 竹山団地の災害基本情報
3. 大規模地震発生の際は自宅避難
一時避難場所は各棟吹き出し場所
4. 防災組織の体制
5. 災害時の活動フロー
6. 災害時のごみの出し方
7. 災害時のテント・車中泊のルール
8. 吹き出し場所の使用方法
9. マンホールトイレの運用の仕方
10. 災害時のソーラー発電の活用方法
11. 防災資機材整備計画と整備済リスト



防災マニュアルは、地震及び各種災害に対し、居住者の生命と財産を守るために、居住者の災害への備えと、居住者相互の助け合いを基本とした災害時の行動計画を策定したものである。この計画に基づき訓練を行い、防災力の向上を図ることを目的とする。

このマニュアルは、理事会において、出席理事の過半数の賛成によって改定する。

1

▲防災マニュアル



▲マンホールトイレ設置訓練の様子